

とちぎ女性活躍推進プロジェクト【栃木県】

地域の実情と課題

- 女性の就業率は、20代後半の女性は70.9%であるのに対し、30代前半の女性は64.8%、30代後半の女性は66.0%
- 男性雇用者の非正規割合21.3%に対し、女性雇用者は60.1%
- 管理的職業従事者に占める割合が、部長相当職における女性の割合は8.6%、課長相当職は9.3%と低い。
- 審議会等委員の女性割合25.1%(法令必置)、自治会長の女性割合2.3%、社会全体で男性が優遇されていると感じる割合70.0%

事業の特徴

- 官民連携により、オール栃木体制で女性活躍を含む働き方改革に取り組むため、「とちぎ女性活躍応援団」を設立
- 女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」で、企業や活躍する(したい)女性等に、取り組むきっかけとなる情報を一元的に提供
- キャリアアップ、ネットワーク構築、起業、仕事と介護の両立等、様々な視点から女性活躍を進める事業メニュー

事業の効果

- 「とちぎ女性活躍応援団」を設立したことにより、オール栃木体制で女性活躍を推進していく体制を整えることができた。
- 「とちぎ女性活躍応援団」の趣旨に多くの企業が賛同し、応援団に登録する等、県内の女性活躍の機運醸成を図ることができた(登録団体数: 目標H32末1,000団体→実績H28末177団体)。
- 働く女性のキャリアアップ支援やネットワーク構築、起業体験事業等により、働く女性の継続就業につながる支援ができた。

目的・目標

オール栃木体制で、女性活躍を推進する体制を整え、様々な視点から、活躍する(したい)女性を支援する。

- 「とちぎ女性活躍応援団登録団体数」
1,000団体(H32年度末) → 177団体(H28年度末)
- 男性の育児休業取得率
8%(H32年度末) → 2.5%(H28年度末)

連携団体

【連携体制】

とちぎ女性活躍応援団

【構成団体】

登録企業(H28末:177団体)

運営団体(栃木県経営者協会、栃木県経済同友会、栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会栃木県連合会、栃木県医師会、栃木県看護協会、栃木県社会福祉協議会、栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業者懇談会、栃木県林業振興協会、栃木県建設産業団体連合会、栃木県トラック協会、栃木県自治会連合会、栃木県女性団体連絡協議会、宇都宮大学、宇都宮学園 文星芸術大学、足利銀行、栃木銀行、下野新聞社、日本放送協会 宇都宮放送局、栃木労働局、栃木県、栃木県市長会、栃木県町村会、とちぎ男女共同参画財団)

今後の課題

- 「とちぎ女性活躍応援団」登録団体は、登録団体数が伸び悩んだこと、県央地区の企業の割合が高いことから、登録団体数が増加し、県内全域で女性活躍が進むよう、より一層の普及啓発に取り組む必要がある。
- 起業体験等の新規事業を中心に、周知等に力を入れつつ、継続して実施することにより、ロールモデルの創出等、事業効果をより広範囲に波及させていく必要がある。

事業の概要

(1)とちぎ女性活躍 応援団事業

①とちぎ女性活躍応援団
運営・発信事業

とちぎ女性活躍応援団

運営団体

登録団体

②とちぎ
女性活
躍応援
団キック
オフ大
会

認定・表彰

③男女生き生き企業
認定・表彰事業



(3)③チャレンジショップ

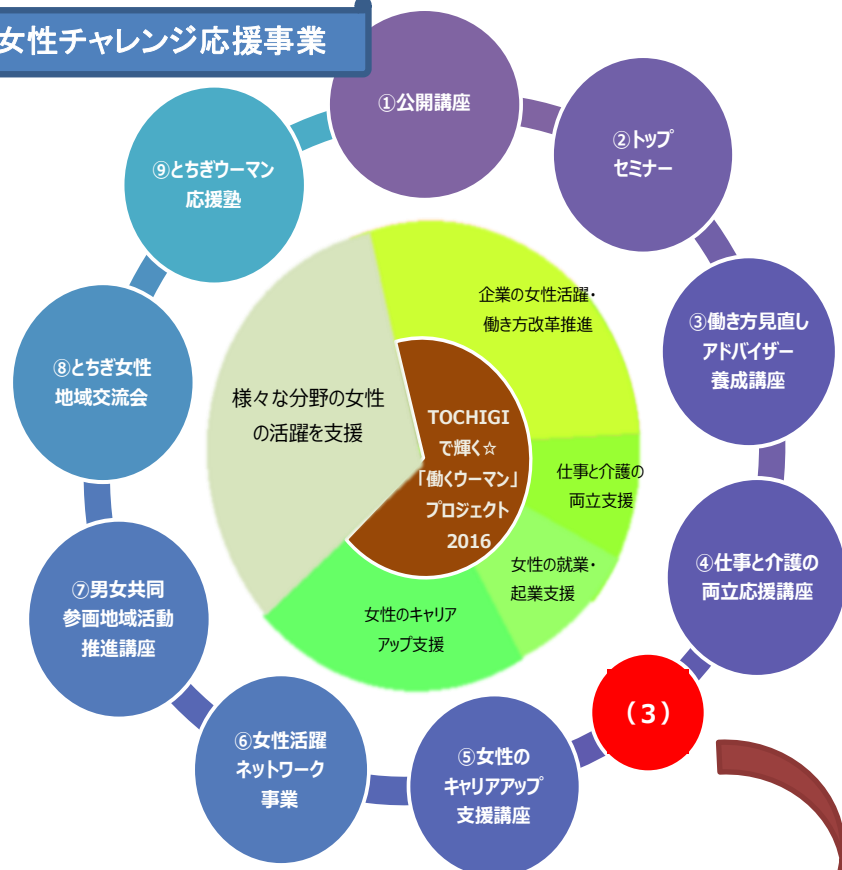
(2)とちぎ女性チャレンジ応援事業



(1)②とちぎ女性活躍応援団
キックオフ大会



(2)⑤女性のキャリアアップ
支援講座



(3)とちぎ女性就労支援事業

就労支援

①キャリアカウ
ンセラーによる
就職相談

時間軸に応じた起業支援

起業を希望
する様々な
女性

②プチ
起業支援
講座

③チャレンジ
ショップ